

2012年ブリッジハートセンター東海

事業報告書

(平成24年4月1日～平成25年1月27日)

第1期 一般社団法人ブリッジハートセンター東海

事業報告書

(平成25年1月28日～3月31日)



任意団体ブリッジハートセンター東海

一般社団法人ブリッジハートセンター東海

平成24年4月1日～平成25年3月31日

2012年ブリッジハートセンター東海 事業報告書

第1期 一般社団法人ブリッジハートセンター東海 事業報告書

I 任意団体ブリッジハートセンター東海(平成24年4月1日～平成25年1月27日)

1 医療保健支援活動(情報等)の多言語化構築事業

財源:(公財)浜松国際交流協会助成事業 250千円

① 調査活動と情報整理事業の実施

浜松市民のための医療配慮についても新しく策定された事項が多い。医療環境の情報整備は急務である。新しく生まれたものも既存のものも社会資源として外国人市民に十分な機能をはたせるよう、行政事業や民間の支援事業など連携のための調査活動、資源として情報整理を行った。



② Webによる情報掲載事業の実施

整理された情報はホームページ作成、ソーシャルネットワーク上で多言語(日本語、スペイン語、ポルトガル語等)で公開している。

■ 浜松医療多言語情報サイト <http://bhctokai.jp/medical/>

2 外国人学校の児童生徒を対象としたヘルスケア事業

財源:(公財)浜松国際交流協会助成事業 200千円

(社福)浜松市社会福祉協議会助成事業 30千円

① ヘルスケア予防のための栄養教育事業「栄養講座」の実施

本講座は9月～10月にかけて、対象校2校に一回当たりの参加人数は40名～70名、実施時間は2時間程度で開催した。アイスブレイクを兼ねた体操を行った後に、コーラやお菓子に含まれる砂糖や油の量を入れたプラスチック容器を子どもたちに回す等の工夫をこらした。思春期の過食症と摂食障害について説明した。更に質問の時間も設けたことで、母国の食文化などの情報を共有することができた。



② 思春期保健教育事業「いのちの話」の開催

本講座はNPO法人魅惑的倶楽部副理事長・長田治義氏を講師に迎え、対象校2校、

実施曜日は平日、一回当たりの参加人数は40名～80名、実施時間は2時間程度。いのちの誕生について具体的な写真や数字、HIV・エイズの説明、多様な人々が社会で共に生きていることを、「皆のお父さんになったつもりで話します。」との切り口から、子ども達の心に届きやすい形で講話を行った。



II 法人としてブリッジハートセンター東海（平成25年1月28日～3月31日）

3 外国人市民のための災害支援活動（情報等）の多言語化構築事業

財源：浜松市南区補助金事業 544 千円

① 南区避難所等の情報整理事業の実施

南区の避難所等情報や既存情報及び民間情報を整理する。災害が起こった時に必要な物（非常持出し袋・非常食等）、南区が指定している避難所や高い建物の明確な所在地を整理してわかりやすく掲載するとともにまだ指定を受けていないが新しくできた建物なども資料としてまとめた。

② 南区災害時多言語ホームページ作成事業の実施

災害が発生した時に行うべき行動を細分化して掲載、言語は日本語とポルトガル語、スペイン語、英語で公開。内容は①普段から気をつけておくこと、②地震発生時取るべき行動、③避難をする時の注意事項、④避難後に取るべき行動、⑤AED（自動体外式除細動）について、⑥AED 南区町別一覧表、⑦心肺蘇生・AED の手順、⑧三角巾の使い方、⑨簡易担架の作り方、⑩一次避難地について、⑪二次避難所について、⑫津波避難ビル、⑬津波避難ビル町別一覧表、⑭防災啓発組織一覧表。



■MINAMI-KU 災害多言語情報ボックス：<http://bhctokai.jp/minamiku/>

③ 南区災害時多言語ガイドブック作成事業の実施

言語は日本語とポルトガル語、スペイン語、英語で発行、内容は①普段から気をつけておくこと、②地震発生時取るべき行動、③避難をする時の注意事項、④避難後に取るべき行動、⑤AED（自動体外式除細動）について、⑥心肺蘇生・AED の手順、⑦三角巾の使い方、⑧簡易担架の作り方、⑨一次避難地について、⑩二次避難所について、⑪津波避難ビル。発行部数は4000部、配布先は南区内の公共施設、公立学校、医療機関、エスニック飲食店、防災啓発活動団体他。



④ ソーシャルメディアによる情報発信事業の実施

まとめた内容をSNSを通じて発信して広く意識を持ってもらおうと共に意見をもらって次年度以降の情報整理につながるようにしている。

4 外国人学校の児童生徒を対象とした「UD・福祉」体験事業

財源：浜松市委託事業 184 千円

① 「UD・福祉」と「ボランティア」の理解事業の実施

外国人学校で講座開催、内容は DVD を見ながら WITH と視覚障害の人達の日常紹介、視覚障害者が読む本や使う道具について、「ユニバーサルデザイン」について、「ユニバーサルデザインとバリアフリー」の違いについて、海外と日本の福祉について、福祉の仕事ってなんだろう、ボランティア活動について、どんなことがボランティアなの、どこでボランティア活動を見つける、視覚障害者が一人で歩くときに困ることについて、障害者ではなく他の器官を最大限に使う人であることについて。



② 「アイマスク体験」のワークショップの実施

外国人学校でワークショップ開催、内容は視覚障害者の就労支援について、視覚障害者が使う車いすについて、車いすの移動の仕方について、視覚障害者が使用するパソコンについて、視覚障害者が一人で歩くときに困ることについて、味覚と視覚の関係性について、障害者スポーツの DVD 鑑賞、ガイドヘルパー体験等。



5 浜松市に委嘱された委員（2012年9月～2013年3月）

山城口ベルト：浜松外国人市民共生審議会

6 協働支援事業 自主事業

一般社団法人グローバル人財サポート浜松のカエルプロジェクト事業の開催協力
浜松外国人医療援助会の浜松外国人学校健診事業の開催協力
浜松外国人医療援助会の浜松外国人無料検診事業の開催協力

7 BHCTOKAI ホームページ運営事業 自主事業

www.bhctokai.jp

8 法人理事会開催

第1回 平成25年1月20日

第2回 平成25年3月28日